

本学正規生\*が受講する研修の内容

\* 正規生…特定行為研修を初めて受講する者

1. 開講区分

共通科目 6 科目 (252 時間)

【区分別】

1	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
2	腹腔ドレーン管理関連
3	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
4	創部ドレーン管理関連
5	動脈血液ガス分析関連
6	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

【パッケージ】

周術期麻酔管理領域パッケージ	集中治療領域パッケージ
----------------	-------------

2. 受講コース

下記より選択して受講

1) 病棟基本コース（3 区分 5 行為） 合計；36 時間

特定行為区分	特定行為	時間数（講義 e-learning + 演習）
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	7 時間
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13 時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	16 時間
	脱水症状に対する輸液による補正	

2) オプション：ドレーン管理（2 区分 2 行為） 合計；14 時間

特定行為区分	特定行為	時間数（講義 e-learning + 演習）
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	8 時間
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	6 時間

3) 在宅基本コース（2 区分 3 行為） 合計；32 時間

※対象：訪問看護師のみ

特定行為区分	特定行為	時間数（講義 e-learning + 演習）
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	16 時間
	脱水症状に対する輸液による補正	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ※選択制	インスリン投与量の調整	16 時間

※血糖コントロールのニーズが無い訪問看護ステーションもあるため、選択制とする。

4) 周術期麻酔管理領域パッケージ (8 行為) 合計 ; 70 時間

特定行為区分	特定行為	時間数 (講義 e-learning + 演習)
呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9 時間 (OSCE)
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	17 時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更 【免除】	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 【免除】	
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13 時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 【免除】	11 時間
	脱水症状に対する輸液による補正	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 【免除】	12 時間
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 【免除】	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 【免除】	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 【免除】	

5) 集中治療パッケージ+関医コース (7 区分 13 行為) 合計 ; 96 時間

特定行為区分	特定行為	時間数 (講義 e-learning + 演習)
呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9 時間 (OSCE)
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	23 時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更 【免除】	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	8 時間
	一時的ペースメーカーリードの抜去 【免除】	
	経皮的心肺補助装置の操作及び管理 【免除】	
	大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整 【免除】	
栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	中心静脈カテーテルの抜去	7 時間
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血★	13 時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整★	16 時間
	脱水症状に対する輸液による補正★	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	20 時間
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 【免除】	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 【免除】	

□ …厚生労働省が定める「集中治療領域パッケージ」研修の行為      ★…関医コースとして設定した行為

6) オプション : NPPV (1 行為) 合計 ; 6 時間

特定行為区分	特定行為	時間数 (講義 e-learning + 演習)
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	6 時間

\* 上記「集中治療パッケージ+関医コース」と併せてのみ受講可能

### 3. 研修の流れ

#### ● 共通科目



#### ● 区分別科目

